

広島工業大学

同窓会誌



第20号 (20周年記念誌)

昭和61年

広島工業大学学歌

歌詞 広島工業大学選定
作曲 井上 佳

緑なる

緑なる三宅

深きいわれの

御倉を開き

倫哲愛を誇る

我等が学府

見よや行くて

精気の学士

研学の道

寄りてぞ極む

ああ

広島工業大学

表紙 昭和61年秋完成予定の鶴記念体育館

題字 総長 鶴 襄

目 次

1. 接 拶

- 20周年を迎えた同窓会の経緯と展望……………同窓会会長 永 見 憲 吾…………… 1
- 同窓会満20周年記念に寄せて……………鶴学園理事長 鶴 襄…………… 3
- 同窓会誌に寄せて……………学 長 吉 田 亜 夫…………… 5
- 広島工業大学同窓会結成20周年記念に寄せて……………同窓会顧問 前 川 力…………… 6

2. 同窓会20年の歩み…………… 7

3. 会員だより

- 私の10年間（NTT時代）……………電子 昭48年卒 芝 雅 夫……………12
- 結果系の悪さを、具体的に、説明的に……………電気 昭58年卒 開 本 孝 登……………13
- 会 員 便 り……………機械 昭60年卒 夜 船 育 夫……………13
- 私 の 体 験……………土木 昭59年卒 渡 辺 勉……………14
- 同窓生として……………土木 昭55年卒 大 林 真……………15
- つれづれなるままに……………経営 昭59年卒 高 木 洋一郎……………16

4. 準会員だより

- 献血の現状……………第26期学生自治会会長 西 田 秀 夫……………17
- 第24回工大祭報告……………第24期工大祭実行委員会実行委員長 藤 田 敏 裕……………18
- 体育会の姿……………体育会本部長 大 塚 修 治……………19

5. 大学だより

- 入 試 案 内……………21
- S60年度 就職だより……………就職部長 山 佐 崇……………22

6. 同窓会本部だより

- 北から南から支部だより……………24
- 20年間の支部結成状況……………24
- 昭和60年度議事録……………28

□ 絵写真集

(大学キャンパス全景)



土木工学科

旧



現在(増築後)



電気工学科

旧



現在(S52.10完成)



電子工学科

現在



新築中(S61.9完成予定)



多目的に利用されている
大学会館



各学科の建物

経営工学科

旧



現在(S57.2完成)



機械工学科

現在 6・7・8号館(S41.4完成)



現在 6・7・8号館(S41.4完成)



現在(S52.10完成)(機械)



建築学科

旧



現在(S55.10完成)



圖書館



雙鶴堂



大学から眺めた五日市町



沼田校舎



工大 イラストマップ



20周年を迎えた同窓会の経緯と展望

同 窓 会 会 長 永 見 憲 吾



母校鶴学園の創立30周年と共に我同窓会が発足して満20周年を迎えようとしている現在、まずもって共に喜びたいと思います。創立以来18年という長きに渡り、

同窓会の基礎を築いて来られた中原前同窓会長をはじめ、役員の皆様方には、特別に敬意を表わさなければならないでしょう。さて、私はその後、会長の大役を仰せつかって、まる2年を経過したところでございますが、過去の役員方の課題を聞かせて頂き乍ら一つ一つの資料を整理してまいりました。この20周年を迎えるにあたり、その資料の中から創立10周年記念誌を読ませていただいているところでございます。その中で、中原前同窓会長の10年間の歩みと、今後の展望についての記事が目にとまりましたので、概略をご披露し乍ら将来の見通しについて考えてまいりたいと存じます。これによると、同窓会の発足当時には資金も底をつき、新入生の入会金50万円のみが唯一の資金であったこと、又、同窓会の基礎作りとして、会誌の発刊につづく会報の発行や、卒業生に対する記念品の贈呈、及び自治会援助、大学への行事に対する記念品の贈呈、そして10周年の記念事業として、同窓会奨学金制度の発足等、着実に実行されて

来られたようであります。10周年後の展望については、特に会員同士の心のつながり、又、同窓会に対する会員の意識の盛り上りによる組織の充実の必要性を訴えてありました。これについては、当時、同窓会の副会長であった村田弘志氏の記事が具体的に書かれてありましたのでご披露させていただきます。すなわち、第1に同窓会事務室の整備をあげられ、専属のスタッフが必要であること、第2に資金面の問題として、今後、会員が毎年1,000人の増加になっていけば、支出増加額がそれに比例して毎年100万円の資金が必要であること等、試算されていました。ちなみに、当時の同窓会会員数は6,600余名、運営資金が3,000万円位あったようですが、現在では1万5,000名の会員と、7,000万円強の資金が基金として預託されております。第3に、組織の充実であります。職場支部→地域支部→本部という流れの中で、組織拡充を考えていたようであります。そして、この組織充実の問題として、一部、学科のOB会による独自の組織活動に対して、本部同窓会組織での位置づけの必要性を述べています。第4に、活動内容について、同窓会会館を建設することによって、会員相互の親睦を考えていたようでありますが、他大学等を参考にすれば、母校の協力なくしては、運営が難しいというこ

挨拶

とで、現在では計画変更となっているようです。

以上、将来展望として、4つの課題が上げられていましたが、この10年間のうちにこの課題がどれだけ実現出来たか、又、現在進行中である部分も含めて、述べてみたいと思います。

第1の課題として、同窓会事務室の整備であります。現在では専属のスタッフ1名と臨時アルバイトによる事務資料の整理、及び組織のキーステーションとして連絡網のかなめ作りを実行中でございます。第2に、資金面の問題でありますが、当初、同窓会館の建設資金として、考えていた預金を運営基金に変更し、今後さらに積み立ての充実を考えようとしているところでございます。第3に、組織の充実であります。当初の暗中模索から組織充実への具体的方向性として下記の整理をしているところであります。すなわち、(1)同窓生の所在を把握する為の名簿の整理、(2)名簿のコンピューター化による職業別、地区別等を加えた名簿の充実(20周年記念として皆様方に配布予定) (3)広工大卒業生で同窓会未加入者に対する加入の呼びかけをしていくこと、(4)この名簿等の充実と共に全国組織体系の充実を考えること等、第4として、同窓会館の建設がありました。その後、平和公園近くに母校による広島校舎が建設されたことであり、我々独自で会館建設をするよりも母校の施設を利用させて頂く方が望ましいことに話し合いがまとまりました。そこで、母校の利用出来る施設を学内に問い合わせたところ、広島校舎をはじめ、沼田校舎、附属図書館などが、一般市場価格よりも格段の安さで利用出来ることが分りました。なお、この度の学園30周年記

念事業として、現在建築中の鶴記念体育館も合わせて、同窓生に開放して頂ける予定でございます。

以上の課題を今後のステップとして、さらに具体的な充実期へと進めていく必要があるでしょう。その為には、学内の教職員の方々が関わっておられる大小のグループと同窓会とのパイプ役をはじめ、色々な面でのつながりが、より一層深まっていかなければ、実現が困難となっていくでしょう。

最後に、同窓会の存在、意義とは何かという問いについて、10周年の記事の中から見出すことが出来ました。それは、本学園の精神、すなわち、「教育は愛なり」と教育方針「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」という崇高な精神を理想に掲げて、我々同窓生自らが社会に実践していくことにあると書かれていましたが、まさに「初心忘るべからず」母校のこの崇高な精神を、社会に浸透させていくことが、我々同窓生の目的であると自確し乍ら、それぞれの職場にあって活躍されることを願ってやみません。皆様方のご健康をお祈り申し上げます。



同窓会満20周年記念に寄せて

鶴 学 園 理 事 長 鶴

裏



このたび、同窓会が満20周年記念を迎え、鶴学園が創立満30周年を記念する節目を同時に祝うことは1万5千人を超える同窓生の皆様にもご同慶の至りです。

今日、社会は21世紀を目前にして、新しい国際社会時代が日本の政治、経済、文化、科学技術のあらゆる分野に行き渡り、同時にその浸透のテンポを速めて、私達の生活、文化は変化をよぎなくされています。

同窓生の皆様方の職場においても技術的な進歩による変化はもとより、国際化時代の製品の輸出入、金融市場の開放、あらゆる国との人的、文化的交流の直接、間接な影響を受けておられると推察いたします。

このような国際化社会の波の中で、われわれが忘れてならないことは、何よりも日本は世界が平和であることによって栄えており、今後も資源の少ない日本は世界の平和の中でのみ栄えることができるのです。また、国際社会の中で

繁栄の注目を浴びている日本は世界のリーダーシップをとっていかなければならない面も現われております。

そこで、日本人は個々人の創造性や発想の転換や学際的共同による技術開発などがますます必要であり、日本人の適応力を十分に発揮していくことが大切であり、世界の平和に物心両面で貢献することに心がけ、他国の事情を理解して各国の文化、慣習に順応した国際化を日本は国家社会全体、企業、教育などが積極的に活力を与えていく必要があります。

最近、私は今後の日本が多様な国際社会にあっても、複雑な人間関係の職場にあっても単なる建て前の妥協による和でなく、本音で相互に意見を充分にのべ、その上で責任を持つ人が決断して皆が協力して実行することによって共存していかなければならないと思い、広島工大沼田校舎に「平和な社会は意見の異なるものが共存するところに生れる」という石碑を設置したのです。

また、国際化に対応するために沼田校舎の中

挨拶

に国際的経験者による英語女子寮を設けて、国際的な人材の育成を考えております。

さらに、今日の情報化社会においてはあらゆる分野でコンピューターをベースにしたオフィス・オートメーションが日進月歩に普及していることに対して、広島工大附属広島情報専門学校を開設し、昼間部に加えて働きながら学べる夜間部を設けています。今日のコンピューターによる技術革新はめざましいものがあり、同窓生の皆様の職場にもその波がおしよせていることと思い、大学で学んだ上に、新たな進歩に適応していく自己啓発を考えている方にご紹介するしだいです。

さて、同窓生の皆様には母校のキャンパスの充実に関心のあることでしょう。永年、本学のシンボルタワーの役割をはたしてきた本館隣の階段棟を壊して、15階建の新1号館を建てることとなり、新たな本学のシンボルタワーとなるでしょう。またラグビー場の西隣りで元50メートルプールのあった場所にソーラシステムによる温水プールとトレーニング室を1階に、2階

は多目的の屋内競技場、3階は600人収容の観覧席を設けた鶴記念体育館の完成を61年8月に目指しており、在学生・教職員・同窓生をはじめ各関係者から寄付金を募集していることは衆知のとおりであります。このような広島工業大学の施設の充実と教育・研究の成果は、母校で同窓生の皆様にとっても、在学生・教職員にも大きな喜びです。是非、同窓会20周年記念総会を機会に各地で活躍しておられる同窓生の方々が一人でも多く母校に集い、喜びを共にしていただきたいと思います。

同様に、同窓会の発展は本大学の誇りであり、1万5千人を超す大所帯になった同窓会は記念誌の発行、会員名簿の整理、総会などを根幹として、今後さらに各地域別、各学科別などの同窓生の集いを活発にしていき、全学的な同窓会の盛り上りに連動していくよう願ってやみません。

最後に、今後とも本学の教育精神が同窓生の皆様方を通して社会に生かされると共に会員の皆様の健康と活躍を心からお祈りいたします。



同窓会誌に寄せて

学

長 吉 田 亜 夫



大学運営の仕事を大別すると ①今後長期のフレーム作り、建設に関すること ②フレームがしっかり出来ているものの日常の運営に関することに分けられる。

ところで当学の同窓会はどうかと言うと関係役員諸氏の日常のご苦勞が多いにもかかわらず、ご他聞にもれず20年にして未だに建設が続いているようである。

何故こう言うかという、自分の直接お世話になった学校のその後を振り返って見ても、この年になって完成したと思われる同窓会にお目にかからない、寧ろ、大学の学科だけの年一度の集まりやら、卒業生中の事業関係者だけの月一度の朝食会、高校の数年に一度の集い等ローカルなものが数少ない定着の例のようにも思う。不定期のものとしては、上京された老先生中心の寄合やら、スポーツの集い、また小学校卒業後50年で集まったりして、楽しい会合も多いが、定期的に組織されているものはない。然し、回りの同年配の方々を見ると、似たり寄ったりのようすで、私及びその周辺だけが不心得ではないようである。

こう書くと実も蓋もないようだが、一方次のような同窓会の構成メンバーに視点を変えると、

即ち、特定の先生、先輩、同僚、後輩には実は、親身も及ばないような、進学、就職は言うに及ばず、一生に関するものも、70歳になってもお世話になっている。このように何物にも増して大事で、しかも何時も未完成なものが同窓会とも言えよう。今年が同窓会20周年であればもう20年を経過した暁に初回の卒業生諸君は、恐らく、今の私と同様な感懐をもつことになるう。

同窓会諸氏の努力により、形の上でも私の場合より更に整った同窓会を目指して建設、維持に努力をして頂きたいと思うとともに、もう一つの無形の内容、同窓会の構成メンバーとの交流を一つ一つ大事に育てて頂きたいと念願する次第である。



広島工業大学同窓会 結成20周年記念に寄せて

同窓会顧問 前川 力



広島工業大学の同窓会も20歳の青年に達し、成人式を迎えられることはご同慶の至りです。一口に20年と申しますが、結成当時の先輩は既に不惑を超えて、実

社会において中堅として活躍されていることは心強い限りです。

20年という節目毎の自分を省りみると、私は出身中学校の18回の卒業生で、同窓会の創立20周年を間近に控えていた頃です。その頃の同窓会名簿を開くと、我々は末席をけがし、1、2回の卒業生といえば30歳代の半ばを過ぎた立派な紳士で、一種の尊敬と、また生意気にも、まだ天下に名をなすには至っていないという淋しさも感じた次第であった。

さて私が大学を出たのはそれから6年後で、世の中は不況のどん底にあって、「大学は出たけれど」という言葉が流行した頃で、大学卒ということをおくした方が就職し易いような、今では想像もできない時代であった。その苦境を脱出するために無謀な戦争に突入して、敗戦という未曾有の国難に当面した次第である。従って当時すなわち中学卒業20年後の自分が、新卒者から見てどうであったかを思うと、いささか忸怩たらざるを得ない。

幸いに日本国民の優秀さと勤勉さに加えて、冷戦というような世界情勢も手伝って、わが国は

経済大国への足取りをたどり、科学技術の振興とそのための理工系大学の大拡張という背景の下に広島工業大学も生れ、敗戦のどん底から数えてほぼ20年に当る昭和42年の卒業式には、私は広島大学で理学部長を勤めていたので、広島大学長の代理でこの卒業式に参列し、祝辞を述べたのであった。この時何を話したかは自分でも記憶しないが、卒業生諸君にとっては尚更で、私が話をしたという事も記憶している工大人はいないであろう。

これが式辞、祝辞の宿命であろうが、私が記憶している唯一の式辞は、60年昔の旧制広島高等学校の入学式で十時弥校長が、高等学校はGesellschaftではなくてGemeinschaftであると熱弁を振られたことである。それはさておき昭和40年前後が私と工大との接がりの始まりで、それから20年を経たのが現在の私である。

人生も終りに近づいて過去を20年という区切りでながめる時、世の中の進行は誠に変転極りなく予想外の連続で、今の日本の繁栄も何時まで続くか、これは個人の努力のみでは如何ともなし難い面がある。しかし個人でも団体でも、その時々で一所懸命の努力をして悔いを残さないことこそ最善の道で、どうぞ同窓生諸君の協力一致によって、同窓会が時代の荒波を乗り越えて、発展を遂げられることを心から祈ってやまない。

同窓会20年の歩み

1. はじめに

同窓会誌も創刊号（昭和42年3月）の発刊より数えて丁度第20号にあたる。この折、同窓会「20年の歩み」と題してまとめるよう、編集委員会の方から分担をおおせつかった。この項の設けられた目的は、同窓会設立当時より今日までの20年の歩みをふりかえることにより、今後の同窓会の在り方を考え、さらに飛躍の礎とすることにあると考える。したがって、本項をまとめるにあたって、客観的に同窓会の20年間の活動を追ってゆくことに留意しなければならないが、若干の

主観が入らざるを得なかった点もある。そこは、会員各位のご指摘を頂くこととして、また、それがご意見として同窓会活動に反映されるなら……、と考えることとした。また、会の設立から10年間の歩みは、同窓会10周年記念誌（昭和51年3月）に詳細に記述されているので、この誌の原稿を基に加筆あるいは削除して転載し、主なる活動を追うのみにとどめることとした。

（文責 昭和60年度幹事長）

2. 同窓会年史

広島工業大学同窓会結成

昭和41年3月27日、昭和41年度第1回卒業生と昭和39年度短期大学卒業生が出席し、名誉会長として、鶴 襄学長（現総長）、顧問として、故久保 進教授、故鈴木正利教授を迎え、会長として中原重男氏を選出し、大学関係の各位の御協力を得て同窓会が発足した。

この同窓会の設立については、短期大学時代の「工友会」と第1回卒業生とが合併し、大学当局の援助のもとに今日の同窓会の母体を確立したものである。

昭和41年

- 3月27日 広島工業大学同窓会会則承認される。
- 8月14日 第1回同窓会総会開催
 - 会則改正により、終身会費5,000円、

入会金500円に決定

- 10月2日 学園創立10周年記念行事に当り、記念品贈呈

昭和42年

- 1月29日 卒業生への記念品として灰皿に決定
- 3月27日 同窓会々誌創刊号発行
 - 表紙の題字は鶴学長（現総長）の御筆により、今日に至っている。
- 8月13日 第2回同窓会総会開催
 - 旅費、慶弔費規定決定
- 11月1日 同窓会々報創刊号発行

昭和43年

- 3月27日 同窓会々誌第2号発行
- 8月17日 第3回同窓会総会開催
 - 支部結成の奨励、自治会活動への援助金支給決定
- 12月7日 同窓会々報第2号発行

昭和44年

- 3月27日 同窓会々誌第3号発行
- 8月4日 第4回同窓会総会開催
 - 関東支部結成承認
 - 旅費規程、自治会援助金規程決定

同窓会20年の歩み

- 10月1日 同窓会々報第3号発行
- 昭和45年**
- 3月27日 同窓会々誌第4号(全6学科卒業記念特集号)発行
- 8月2日 第5回同窓会総会開催
- 総会開催時期を従来の8月を4月に繰り上げておこなうことに決定
 - 同窓会々誌を新入生に配布することに決定
- 11月5日 同窓会々報第4号発行
- 昭和46年**
- 3月27日 同窓会々誌第5号発行
- 4月25日 第6回同窓会総会開催
- 終身会費6,000円 入会金1,000円に改正
- 11月1日 同窓会々報第5号発行
- 昭和47年**
- 1月8日 図書館開館記念にミロのビーナス像を贈呈
- 3月27日 同窓会々誌第6号発行
- 4月29日 第7回同窓会総会開催
- 地域支部、職域支部の奨励活動の推進
- 10月1日 同窓会々報第6号発行
- 昭和48年**
- 3月27日 同窓会々誌第7号発行
同窓会会員名簿発行
- 4月29日 第8回同窓会総会開催
- 会計細則承認
- 7月10日 同窓会々報第7号発行
- 11月 大学創立10周年記念にあたり、記念樹を10号館の広場に植樹
- 昭和49年**
- 3月 同窓会主催「ヨーロッパ理工学研修旅行」を举行
- 3月27日 同窓会々誌第8号発行
- 4月29日 第9回同窓会総会開催
- 50年度の総会は10周年記念総会とすることに決定
 - ヨーロッパ理工学研修旅行の報告
- 7月10日 同窓会々報第8号発行
- 昭和50年**
- 3月27日 同窓会々誌第9号発行
- 5月4日 第10回同窓会記念総会開催
- 横井庄一氏記念講演
 - 岩国支部承認
 - 51年度より同窓会奨学金制度を発足することに決定。奨学金基金募集開始
- 終身会費8,000円に値上げ
 - 全国の大学の同窓会実情調査報告
- 6月10日 同窓会々報第9号発行
- 昭和51年**
- 3月 同窓会会員名簿発行
同窓会々誌(10周年記念誌)発行
- 4月29日 第11回同窓会総会開催
- 奨学金制度の審議
 - 同窓会奨学金給与規定の承認
- 7月9日 第2回海外研修旅行の企画
(10月 参加者申込みが少なく中止)
- 7月16日 同窓会々報第10号発行
- 10月 学園創立20周年記念にあたり、鶴奨学会に寄付
(以後、昭和60年現在まで継続している)
- 昭和52年**
- 3月27日 同窓会々誌第11号発行
- 4月29日 第12回同窓会総会開催
- 活動内容を充実するための事務および組織の合理化
- 6月25日 大学への同窓会事務依頼
(会計を中心とした、事務委託)
- 7月15日 同窓会々報第11号発行
- 昭和53年**
- 3月27日 同窓会々誌第12号発行
- 4月29日 第13回同窓会総会開催
- 職場支部結成の奨励
 - 会則が改正され承認された。(第6章 会計)
 - 名簿の発行年度にあたるが、様式変更および住所不明者を明確にするため、1年延期することが承認された。
 - 終身会費10,000円に値上げ
- 7月10日 同窓会々報第12号発行
- 9月18日 関東支部大会(昭和44年7月13日結成)
- 9月20日 関西支部大会(支部結成)
(両大会に鶴総長出席)
- ※53年度に結成された職場支部
- ジューキ広島製作所。中国電機製造㈱
 - 大協㈱。中国電力㈱。油谷重工㈱。三建産業㈱
- 昭和54年**
- 3月27日 同窓会々誌第13号発行
- 4月29日 第14回同窓会総会開催
- 職場支部の拡充
 - 名簿の発行
- 7月15日 同窓会々報第13号発行

同窓会20年の歩み

10月20日 長崎県支部結成

12月1日 徳島県支部結成

12月2日 香川県支部結成

昭和55年

2月 広島校舎建設を記念して寄付

3月27日 同窓会々誌第14号発行

同窓会会員名簿発行

4月29日 第15回同窓会総会開催

◦職場、地域支部の拡充

◦名簿の整理

6月 他大学同窓会活動調査(第15号会誌参照)

7月26日 同窓会々報第14号発行

昭和56年

3月27日 同窓会々誌第15号発行

同窓会名簿発行(本年度より毎年発行、
新会員、新卒業生に配布、他の会員に対
しては有料)

4月29日 第16回同窓会総会開催

◦支部の結成、育成

◦名簿の充実

◦活動の見直し

7月26日 同窓会々誌第15号発行

※56年度に結成された職場支部

◦菱電商事機広島支店

昭和57年

3月27日 同窓会々誌第16号発行

同窓会会員名簿発行

4月29日 第17回同窓会総会開催

◦職場・地域支部の拡充

◦名簿の整理・発行

6月19日 宮崎県支部結成

8月1日 同窓会々報第16号発行

※57年度に結成された職場支部

◦誠和㈱ ◦三次電機㈱ ◦東洋工業㈱

◦広島信用金庫

昭和58年

2月11日 支部長並びに職場代表者の集いの開催

3月27日 同窓会々誌第17号発行

同窓会会員名簿発行

4月29日 第18回同窓会総会開催

◦終身会費13,000円に値上げ

◦入会金2,000円に値上げ

◦同窓会事務合理化について

8月1日 同窓会々報第17号発行

11月6日 組織拡充代表者会議の開催

昭和59年

3月27日 同窓会々誌第18号発行

同窓会会員名簿発行

4月29日 第19回同窓会総会開催

◦同窓会事務の合理化

◦支部の結成、育成

◦名簿の充実

◦活動の見直し、組織の検討

8月1日 同窓会々報第18号発行

11月3日 徳島県支部母校見学ツアーへの参加

12月1日 事務室制度の確立(専従事務員をおく)

※59年度に結成された職場支部

◦佐竹工大会

昭和60年

1月 学園30周年記念行事への参画

2月24日 組織拡充代表者会議

3月27日 同窓会々誌第19号発行

同窓会会員名簿発行

4月29日 第20回同窓会総会開催

◦同窓会20周年記念事業

記念誌の発行、記念総会、記念講演会、
学園への寄付、全国支部組織の確立、奨
学制度の見直し

◦同窓会会員名簿の電算化の実施

◦同窓会事務内規の検討

◦同窓会組織の見直し

将来、法人化することを目標

8月1日 同窓会々報第19号発行

※60年度に結成された職場支部

◦広島市役所

(60年12月現在)

毎年続けている活動の内、準会員に対する援助(体
育祭、大学祭、同窓会奨学金、クラブ活動援助、卒業
生への記念品等)の項目に関しては記載しなかった。
また、同窓会に貢献して頂いた方々に対する記念品贈
呈などの項も記載しなかった。



同窓会20年の歩み

3. 会員数の状況

年度別・学科別会員数

但し、上段()は準会員数 S. 60. 9.現在

学科	卒業生数	38	39	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	合計	
		(29) 103	(1) 51	48	(26) 120	(13) 100	(35) 93	(82) 137	(41) 127	(13) 132	(26) 140	(8) 87	(6) 98	(30) 103	(30) 109	(2) 92	(2) 113	119	124	(2) 110	111	114	79	(292) 2,310	
電子			(1) 32		(30) 89	(17) 83	(17) 88	(66) 137	(44) 129	(16) 124	(30) 127	(21) 125	(20) 88	(5) 113	(2) 109	(1) 101	(1) 118	114	117	(1) 121	120	126	117	(254) 2,210	
機 械	A					(24) 120	(74) 195	(123) 247	(47) 103	(16) 122	(24) 136	(13) 89	(4) 90	(1) 92		(3) 87	(3) 91	85	88	81	96	94	89	97	(332) 2,002
	B								(56) 108	(11) 119	(14) 112	(11) 107	(6) 96		(3) 78	(1) 80	(2) 86	(2) 94	114	92	90	92	95	98	(104) 1,461
土 木						(20) 61	(67) 121	(68) 155	(13) 123	(18) 144	(6) 104	(10) 99	(1) 119	(3) 105	(3) 123		(8) 127	117	106	(1) 110	99	132	100	(215) 1,945	
建 築	A					(28) 87	(114) 200	(109) 113	(85) 96	(22) 137	(8) 94	(22) 108	(4) 119	(3) 96	(1) 111	(4) 90		91	103	(1) 105	116	87	109	(401) 1,862	
	B								(92) 115	(81) 127	(24) 115	(7) 89	(14) 106	(6) 120	(17) 103		(2) 103	93	106	64	133	101	117	96	(243) 1,587
経 営								(69) 102	(38) 102	(14) 126	(19) 126	(15) 129	(7) 121	(3) 89	(4) 97	(2) 108		108	117	131	111	125	95	(1) 95	(172) 1,782
合 計		(29) 103	(2) 83	80	(56) 209	(54) 303	(174) 524	(521) 944	(495) 952	(249) 969	(177) 1,037	(89) 824	(71) 806	(23) 833	(35) 786	(10) 815	(22) 828		866	818	(5) 876	858	855	(1) 790	(2,013) 15,159

地区別会員数

S 60. 5.22 現在

学科別	死亡者数	住 所 不明の者	会誌・会報等 の発送人数
電 子	13	323	1,973
電 気	11	245	1,953
機 械	A (4) 6 B 5	335	3,113
土 木	9	107	1,830
建 築	A (1) 5 B 3	424	3,015
経 営	6	152	1,627
合 計	(5) 63 58	1,586	13,510

関東地区	東京都 526 神奈川県 277 千葉県 120 茨城県 38	栃木県 埼玉県 群馬県 山梨県	6 102 9 4	1,082
信越地区	長野県 14	新潟県	10	24
東海地区	静岡県 45 岐阜県 4	愛知県 三重県	107 7	163
近畿地区	滋賀県 31 大阪府 626 京都府 72	奈良県 和歌山県 兵庫県	50 22 343	1,144
中国地区	鳥取県 122 島根県 282 岡山県 496	広島県 (市内) 山口県	6,980 (3,640) 929	8,809
四国地区	香川県 279 徳島県 131	高知県 愛媛県	98 804	1,312
九州地区	福岡県 224 佐賀県 17 長崎県 75 熊本県 46	大分県 宮崎県 鹿児島県	127 44 85	618
北陸地区	福井県 1 石川県 1	富山県	3	5
東北地区	福島県 1	宮城県	6	7
	北海道 5	沖縄	5	10
海 外				5

同窓会20年の歩み

4. 歴代同窓会役員

年度 役職	昭 41	昭 42	昭 43	昭 44	昭 45	昭 46	昭 47	昭 48	昭 49	昭 50
会 長	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男
副 会 長	村田弘志 河野信義	村田弘志 河野信義	村田弘志 大塚国昭	村田弘志 市岡見彦	村田弘志 河野信義	村田弘志 小西正明	村田弘志 小西正明	川畑敬志 福島新一	田川正則 森滝美治郎	村田弘志 大武賢治
会 計	新村正昭 湯尻 照	片山剛之丞 湯尻 照	片山剛之丞 谷口忠光	内藤慶寛 谷口忠光	猪上憲治 菅原辰幸	川畑敬志 猪上憲治	中西助次 砂原照雄	中西助次 西田弘展	松江孝博 中西助次	松江孝博 西田弘展
会計監査	可知英樹 砂田謙二	内藤慶寛 松山千恵子	内藤慶寛 松山千恵子	河野信義 片山剛之丞	田原憲治 森本房義	森本房義 峠 孝司	森本房義 玉田康莊	森本房義 砂原照雄	森本房義 砂原照雄	森本房義 中西助次
幹 事 長	森本房義	川畑敬志	川畑敬志	川畑敬志	小西正明	湯尻 照	砂田謙二	菅原辰幸	猪上憲治	菅原辰幸
副幹事長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	伊藤秀敏

年度 役職	昭 51	昭 52	昭 53	昭 54	昭 55	昭 56	昭 57	昭 58	昭 59	昭 60
会 長	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	中原重男	永見憲吾	永見憲吾
副 会 長	森本房義 山下和彦	森本房義 藤内寿郎	藤内寿郎 大藤英寿	竹原 昇 森本房義	森本房義 中塚晴夫	中塚晴夫 橋田好弘	橋田好弘 道田憲治	荒谷寿一 橋田好弘	荒谷寿一 道田憲治	荒谷寿一 道田憲治
会 計	西田弘展 沖根光夫	沖根光夫 重広孝則	重広孝則 福永 保	福永 保 玉野和保	玉野和保 西野達夫	西野達夫 菅 雄三	菅 雄三 手越義昭	菅 雄三 手越義昭	手越義昭 松広 斎	松広 斎 砂田謙二
会計監査	砂原照雄 藤内寿郎	砂原照雄 西田弘展	沖根光夫 大藤英寿	大藤英寿 重広孝則	玉田康莊 福永 保	玉田康莊 玉野和保	重広孝則 玉田康莊	湯尻 照 西野達夫	菅 雄三 橋田好弘	手越義昭 橋田好弘
幹 事 長	中西助次	松江孝博	伊藤秀敏	原田義治	片山剛之丞	沖根光夫	西田弘展	重広孝則	玉野和保	中西助次
副幹事長	松江孝博	伊藤秀敏 中西助次	原田義治 松江孝博	片山剛之丞 伊藤秀敏	沖根光夫 原田義治	西田弘展 片山剛之丞	近宗 貴 沖根光夫	西田弘展 玉野和保	中西助次 重広孝則	伊藤秀敏 玉野和保

5. 予算・支出状況

項目	年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
予 算		7,042,000 (1,006,730)	6,455,000	6,132,000	6,569,000	12,562,660	10,634,678	11,293,214	11,487,363	13,247,661	13,707,083	19,163,358
支 出		7,359,403	5,606,854	4,811,527	4,762,340	10,094,872	8,781,286	9,174,978	8,865,260	9,191,988	9,336,522	

奨学会会計

項目	年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
基 金		2,015,670	2,311,705	2,423,229	2,484,227	2,645,698	3,286,140	4,576,135	5,652,921	5,855,380	5,495,380
支 出		360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	367,000	389,239	368,025	360,000	180,000

但し、60年度は10月1日現在

「私の10年間」(NTT時代)

昭和48年・電子工学科卒業 芝

雅夫(NTT(日本電信電話))
中国総支社・データ通信部勤務



昭和48年3月、広島工業大学を卒業して早や12年が過ぎます。「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、昭和50年にNTTに入社して10年、人生の約3分の1程度は社会人として生活したことになります。思えば、これと言った確固たる信念・野望を持って社会に飛び立った訳ではなく、何とかなるであろうと安易な気持ちで出発した感じであることを今になって少々悔んでいます。在学中にもっと真剣に将来の為の準備をし、将来を展望して進路を模索すべきであったと実感しているこの頃であり、在学中の若人には、自分の人生は自分の軌跡であることを肝に銘じ、今のうちに何にでも本気で悩んで、何かを身につけて社会に船出していただければと思います。しかし、そうかと言って私のこれまでの人生を振り返ったとき、なんとなくではあるが順調で満足できる10年間であったと自負しています。入社して1年間、東京と名古屋で新入社員研修を受け、無我夢中で過ごしたことが今となればなつかしく思い出されます。

元来が一人では淋しがり屋の性質であり、大都会でよく我慢できたのは、周りの人達に助けられていたのだと今になって実感しています。訓練を終えて、51年4月広島に配属となり、57年迄データ通信システムの設計・建設に従事しました。この間に経験したシステムは、信金、全国銀行、救急医療、農協、相互銀行システム等、主としてバンキングネットワークシステムの構築に携わり、新しい仕事を次々と楽しく経験できた時期でした。仕事に追われ、家庭を築き、生活に大きな変化を得た私の「青春の時代」といえます。57年から59年の2年間は鳥取で農

協システムの保守を担当し、公私ともに生活をエンジョイした時期と言えるでしょう。仕事では、パソコンを通じて多くの知己を得、私的には名所旧跡巡りを家族で楽しみ、「潤いの時代」でした。特に、58年の大雪は今でも強く記憶に残っています。59年2月に、再度鳥取から帰広し、データ通信分野の変化の激しさに驚いたものです。当時、データ通信の目玉商品となっていた「ANSER」システムの担当となり、世の中がネットワーク指向、VA指向に大きく前進していることを痛感しました。現在は、中国地方のデータ通信部門の取りまとめ役である総括担当に席を置いており、これまでに色々なシステムで経験し、蓄積したものを総合的に活用する必要があり、日々是れ楽しく仕事に取り組んでいます。特に、60年4月からは、独占の公社生活に別れを告げ、荒波の民間企業へと船出したところであり、これに伴ってデータ通信事業部の組織整備が当面の私の最重点課題と言えます。巨大企業の激動の時期に体制整備のオースタッフとして活動する場を与えられたことは、私にとっても大きな転換期であり、自信となるものです。今後、データ部及びNTTがどの様に発展して行くのか非常に楽しみなところ です。

ところで、私の人生においても、大きな節目が3つあったことを紹介しておきます。1つには、大学において良き師、良き友に巡り合えたこと。2つには、なんとなくではあるけれど、自分に合った職業に就いたこと。3つには、良き妻、良き子宝に恵まれたこと、であり、人生を曲折することなく現在に至っていることは、節目節目で幸運を手に入れたものと感謝しています。家族は、妻と可愛い盛りの娘2人(6

歳と4歳)の女系家族であり、仲良くにぎやかに暮らしており、大いに人生を楽しんでいます。今、若干ではあるが、仕事にも、生活にも

心の余裕ができ、何事にも真から熱中できる時期を迎えているという充実感を持っています。

「結果系の悪さを、具体的に、説明的に」

昭和58年・電気工学科卒業 開本孝登 (横河ヒューレット・パッカード勤務)



私が現在頭をいためている事が、このテーマにあるのです。

この「結果系の云々」とは、QC(品質管理)サークルで

の取組み方を表しています。

何故このようなことを取り上げてお話ししようなどと考えたのか、私も不思議に思っております。実は、私が会社から得た初めての新しい概念が、このQCだったのです。この概念は、学生時代に経営工学の先生にいろいろ(自分から)聞く程、惚れこんだものでした。それが、何故「頭をいためる」程の重荷になっているのか、結局、惚れこんでいるからです。そして、このQC概念を基に、それを具体的なものへ実現していったときの社会に対する貢献が、いかに素

晴しいものかを体験したからに違いないでしょう。

このテーマに沿い、日々私は考えています。少しでも仕事スムーズに行なえるように、少しでも無駄がなくなり、また、少しでも給料が上がるようにとも考えています。この私の考えは、会社の考えとなり、業界へ、国内へ、世界へと連なっているのです。一人一人の努力が皆のものになるこの素晴しさは、学生時代にも味わっていたはずで

今回、急に筆をとることになり、この機会を持つことで心の整理をすることができました。このめぐり合わせを頂いた事に感謝するとともに、広島工業大学の関係各位の方々に御礼申し上げます。

会 員 便 り

昭和60年・機械工学科卒業 夜船育夫 (広島工業大学勤務)



私は広島工業大学機械工学科を卒業後、現在まで同大学に於いて助手として勤務してきました。仕事としては学生の指導及び内燃機関について

の研究、主にディーゼル機関について研究しています。研究という点では学生時代からの延長

ではありますが、やはり気分的には違ったものがあります。また、この数か月の間、助手として感じたことは色々ありました。人間関係の大切さ、生活のリズム・時間の大切さ、特に休日の有り難さは身にしみて分るようになりました。

私の友人の多くは一般企業で勤務している関

会員だより

係上、24時間勤務や連日の残業でなかなか大変なようです。しかし、これも新入社員の特権の一つでもあるとも言えます。

彼らが最近よく、「勉強しなくてはいけないが、社会人となると、なかなかできない。」と、漏らしているのを耳にします。やっと学生生活を終えたというのに、やはり、これが現実なのでしょう。『石の上にも3年』ということわざがある通り、多少の個人差はあるにせよ新入社員にとって最初の3年間は特にきびしいも

のだと聞いています。しかし、そのきびしさがあつてこそ社会人として一人前の人間となりえるのですし、ましてや、現在、自分が与えられている仕事は、次に与えられる仕事をマスターする為のベースであるとも言えるのですから、与えられた仕事に対しては最大限の努力を傾けなければと、考えております。

最後に同窓会誌第20号の刊行において、会員便りの原稿執筆のできたことを光栄に感じつつ、終らせていただきます。

私の体験

昭和59年・土木工学科卒業 渡辺 勉 (広島道路エンジニア(株)勤務)

私は昭和59年に卒業した渡辺勉と申す者です。自分は昭和55年に本学土木工学科に入学以来、4年間、苦勞に苦勞を重ねてやっと卒業にこぎつけて今は入社2年目の会社員です。

会社は広島道路エンジニアであります。59年に入社し8か月間本社(広島)で、現在は岡山県津山市が私の勤務地であります。

では入学してからの印象的な出来事かと思つたことを紹介しましょう。自分はもともと広島で家を出るのは今回が初めてなワケですが、今までは家を出たことがなかったので(もちろん大学時代も)他県から来ていた友人などを遊びに誘うと「金がないから」「ヒマがないから」とか言われると、そんなことあるもんかと思つてました。しかし、今こうして家を出てみると本当にそんなこともあるのかと思うことが多いのです。現に自分が体験してみるとヒシヒシとを感じるものです。家を出る前は一人暮らしにあてがれていた所がありますが、いざそれが現実になってみると、あてがれはどこえやら現実はい

びしいナァと感じました。それまで楽しく乗っていた車にしても、非常に燃料費が気になるし、税金だって気になってしまう始末。しかし、やりたい事は結構やっています。要は自分の気構え次第で楽しくもなり、苦しくもなると、言う事も学びました。これは学生の時も同様だと感じました。自分は入学して1年目、2年目の時、単位を落しに落とし、これはもう留年当確だと思ひ半分あきらめていました。しかし、ここで冷静になって考えてみると、楽しい学生生活とは一緒に入学した友人と一緒に学ぶ、遊ぶことだと考えました。という事は絶対に留年してはならないと思ひ歯をくいしばってガンバツところ何と4年で卒業にごつき、成績の方も全体の1/3くらいの順位でした。もし、あの時、もうどうでもいいやと思っていたら今でも学生をやっているのではないかと、今でも考えることがあります。

さて、今度は今の職場のことですが、冒頭にも述べたように現在、私の職場は津山市にある中国縦貫道津山ICであります。日本道路公団

の下請け会社である我が社は（特に土木職）日常公団職員と机を並べているので我々の直接の上司は公団職員となるワケで少し複雑なところもありますが、土木職もサラリーマン化した今、心意気と人の和で仕事をする人は少なくなっているように思われますが、津山の場合はそれほどでもなく、特に我々の直接上の上司はものわかりが良く、しかもユーモアもあり仕事はもちろん遊びも実にけじめがあり、酒の場が非常に好きで時にはプロレスの技もかけてくる程チャメッ気たっぷりの人でした。私はもし人の上に立つならこんな人になりたいとさえ思っ

ていましたが、先日、心臓発作で亡くなられてしまいました。私の人生の1つの目標としていた人の一人だったので強い衝激を受けました。しかし、亡くなったものはどうしようもありません、自分はこの方から良い勉強をさせていただいたと思います。

これから何もかも経験を自分の身にしていこうと思います。たとえ人が亡くなろうともそれも勉強だと思って生きて行きたいと思います。色々書きましたがこれで終らせて頂きます。

同 窓 生 と し て

昭和55年・土木工学科卒業 大林 真（広島工業大学勤務）



昭和55年3月、広島工業大学、土木工学科を卒業し、同年4月より同大学建築学科に技術職員としてお世話になっております。

昭和60年4月より、同窓会書記を仰せつかりましたが、正直なところ、これまで、学内におり、又同窓会会員でありながら、同窓会の活動についての知識は無に近い状態にありました。

現在15,000人余りの同窓生の方が、いらっしゃいますが、私のような方も、たくさんいらっしゃると思います。

そこで1年間書記をさせて頂いて、勉強になったこと、気のついたことを、お話しさせて頂きたいと思います。

先に述べましたように、私自身、右も左もわからないような状態でしたので当初、幹事会や役員会に於いても議事を執るのが、精一杯でしたが、ここ最近同窓会についても少しわかりか

けて感じたことは、同窓生の皆さんの同窓会に対する意識が少し低いように思われます。これは皆さんが日本国内はもとより海外にと、幅広く活躍され、公私共に非常にお忙しいことも原因のひとつかと思いますが、その反面、地区単位、県単位、職場単位で支部を結成され、活動されている方々もたくさんあり、特に地域、県支部においては遠方の地域の皆さんの活動も多く、団結力の強さにはびっくり致しました。

広島近辺についても、活発に動かれている方も、たくさんいらっしゃいますが、いまひとつ盛り上がり欠けていることも事実のようです。

昭和61年度は、鶴学園創立30周年、また同窓会も20年の節目を迎え、記念総会、講演会などが企画されております。

広島工業大学を卒業され、5名以上の方が仕事をされている企業、会社が全国で850社程度あり、その内7割は広島周辺ということですが、1人ではどうもという方も、職場ぐるみで参加

会員だより

され、旧交をあたためられてはいかがでしょうか。

若輩の私が生意気を申しましたこと、お許し下さい。

「つれづれなるままに」

昭和55年・経営工学科卒業 高木 洋一郎 (三加和町役場勤務)



拝啓

同窓生の皆様におかれましては、各方面において益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

私も卒業後6年が過ぎ、その間いろんな人いろんな出来事に出会い、苦しみ時には楽しく過してまいりました。

そんな6年間のうちでも、去年は私にとって、大学生活と同じように人生の大きな節目の年でした。

希望と期待に胸膨らませて、故郷の町役場に就職したものの、軽く裏切られ、無気力に苛まれ、何とかしなければと思いつけている間に、4年が過ぎようとしている時、一人の女性が私の目に映りました。

私はとても新鮮なものを見つけた気持ちでした。これを機に今までの生活や心のモヤモヤを整理して、新しい気持ちで生活や仕事を見直すきっかけになるような気がして、昨年結婚しました。

それから約1年。「生きがい」と言うより「責任」を感じながら毎日を送っています。

「責任」を自覚してから、仕事に対する姿勢が変わったような気がします。以前のような転職を考えたり、無気力な時の仕事ぶりとは変わったことが、自分でも分かります。

それは、妻と二人の生活と自分ひとりの生活との違いに似たもののようです。

今、私は企画課という部署で、町の将来像についての仕事に携わっていますが、自分の子供

が成長して、この町を見た時「お父さん、俺この町に残るよ。」と言ってくれるような町にしなければと考えるようになりました。

特に近頃は、妻の腹が大きくなり始め、なにやら、腹の中で動くものがあるという言葉聞いて、尚更、そう考えなければならぬようになりました。

このように私を変えたものは、女性だけではありません。

冒頭でも申し上げたように、広島での生活もそのひとつです。

青春の真只中を過した大学での4年間で、私は自由な生活の中から、いろんな事を学び知りました。恩師の先生方、先輩、そして友人達に恵まれて、充実した人間形成期を過せたことは、私にとって宝です。

現在の私を創り、未来の糧でもあります。

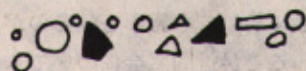
広工大は父であり、第二の故郷として、私の心の支えとなっています。

とりとめもないことを、思いつくままにしたためましたが、母校で過した日々を忘れずに、時には想い出して、自分を見つめ直すのもよいものです。

最後になりましたが、広工大の益々の繁栄と、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈って筆を置きます。乱筆乱文をご容赦下さい。

敬 具

同窓生御一同様



献 血 の 現 状

第26期学生自治会会長

西 田 秀 夫

昭和の時代も60年を過ぎ、この自治会も25周年を過ぎて第26期を迎えることになりました。そして、新役員一同、力を合わせて頑張っていこう、と思っています。

さて、自治会も25年を経過したわけですが、それを記念して「坂」という本を出すこととなりました。第25期自治会執行部では各種アンケートの実施ならびに集計、各種原稿を集め、過去から現在までの自治会の歴史を調べ、今期発行となりました。

内容といたしましては、

- 第25期学生自治会執行部紹介
- 自治会の紹介
- 現在まで（過去24年）の活動内容
- 学生大会議案書より
- 学生便覧より

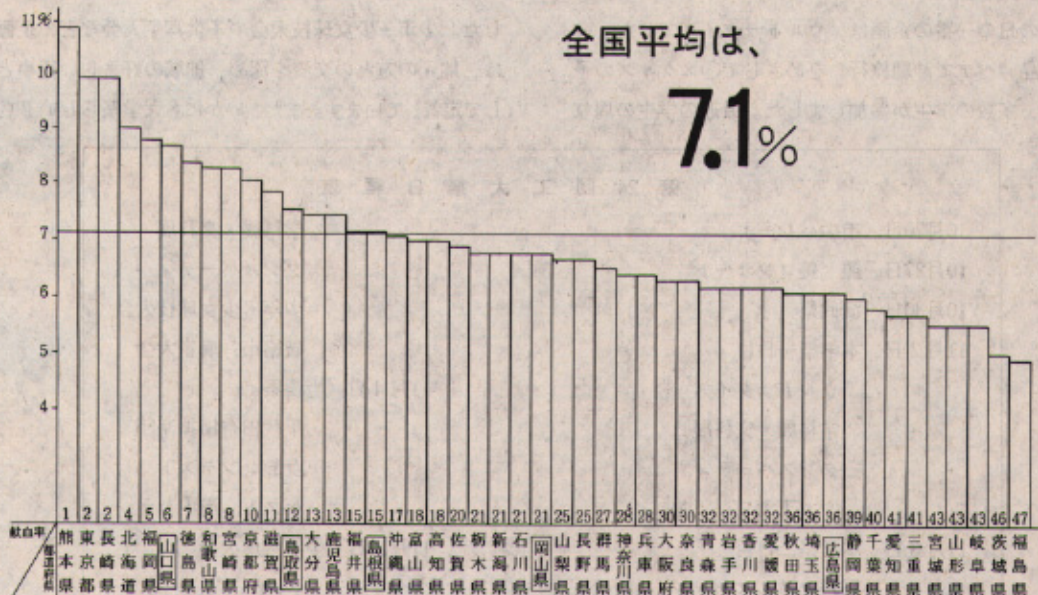
- 工大生に対するイメージアンケート集計結果報告
- 駐車場・駐輪場に対するアンケート集計結果報告
- 各学科の先生、ゼミ生、学科会より
- 文化局より
- 工大祭実行委員会より

などとなっています。この本を工大生に読んでもらうことにより、自治意識の向上を計り又、今まで触れることが全くなかった工大の歴史が少しでも理解されたと考えています。

次に、これは卒業された方にも大いに関係がある献血について述べたいと思います。現在日本は外国から血液を輸入しています。この輸入された血液には、現在新聞紙上ににぎわしております「エイズ」の可能性があります。ですから、自国の血液は自国で賄わねばならないのです。しかし現実には、全国平均が7.1%

全国平均は、

7.1%



準会員だより

となっており、外国から輸入しなければ血液が不足することになります。又、この広島工業大学がある広島県の献血率をみると6.1%と全国平均を1%も下回っており、全国でもかなり下の方にランクされております。

昭和55年度から昭和59年度までの広島県の大学献血の実績を調べてみると、年々献血率が減少していております。自治会としては、学内情宣を活発にして少

しでも学生に献血についての理解を深めてもらうように努力していきたいと思っています。

卒業されて社会で活躍されています皆さまもぜひこの献血の現状を理解していただきたいと思います。

最後になりましたが、皆様の御活躍、御健闘をお祈り申し上げます。



“第24回 工大祭報告”

第24期工大祭実行委員会実行委員長

藤 田 敏 裕

広島工大を御卒業されたOB・OGの皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて本学では恒例の工大祭が、別記の日程表通り行われました。今年の様々な行事のなかから幾つかを織り混ぜながら、最近の学生と大学祭の様子を御紹介してみたいと思います。

11月2日(土)

本学祭一日目

この日の一番の企画は、ウルトラクイズでした。一等賞品「ペアで沖縄旅行」をめざして〇×クイズの予選に、多数の学生が参加しました。最近の学生の周り

には、麻雀・パチンコ・バイク・自動車など多くの娯楽が氾濫しています。そのなかで工大祭をより魅力的にするために、最近ではこのようにBIGな賞品が出るクイズが一つの流行になっています。この傾向は、ここしばらくは続くものと思います。

11月3日(日)

本学祭二日目

3日は最も工大祭らしい一日で色々な企画がありました。少年・少女球技大会や子供写生大会などの企画は、地元の方との交流を深め、地域の好ましい行事として定着しています。また、いかにも大学祭らしい？、

第 24 回 工 大 祭 日 程 表

10月20日	市中パレード	学科展・文科展
10月27日	麗 美コンサート	ダンスパーティ
10月30日	演武祭	少年・少女球技大会
11月2日	本学祭一日目	破格市 麻雀大会
	ウルトラクイズ	11月4日 当夜祭
	学科展・文科展	千代田有田神楽団
	ダンスパーティ	女装コンテスト
	ミス工大	ゲスト 河内りえ
11月3日	本学祭二日目	11月10日 少年剣道大会
	野咲たみこステージ	

保母さんギャルコンテストや野咲たみこステージも雰囲気盛り上げなかなか好評でした。このように「まつり」としての工大祭は大成功でした。

しかし、工大祭は単なる「まつり」であってはいけないと思うのです。その前に「学生の成果の発表の場」でなければなりません。その点では、現在の工大祭はさみしいかぎりです。特に学科展は、先輩方のものより質が悪いと先生方におしかりをうけています。我々、実行委員会もこのあたりを深く反省し、あの手この手と尽くしています。ところが一部の学科会を除いて、各学科会の低迷は根が深く深刻な問題になっています。これも現代の学生の特徴を、示しているのでしょうか？活発に学科会や自治会で活動する学生が少

ないのは、残念な事だと思います。

11月4日（振替休日）

当夜祭

この日は理屈めきで「まつり」でありました。伝統のワンゲル赤フンおどりは、今年もサブグラウンドをうめつくした人々を圧倒しました。また新しい試みとして有田千代田神楽団の皆さんに「やまたのおろち」を演じていただきました。

このように考えてみますと、工大祭は「まつり」としてより派手になり盛大になっていくでしょう。そのなかで我々は常に工大祭とはなにかを考え、先輩方の築かれた工大祭をしっかりと守っていきたいとおもいます。

体育会の姿



体育会本部長

・大塚修治

諸先輩方におかれましては益々御健勝の事と御慶び申し上げます。

先輩方が築き上げられた体育会本部も、11周年目を迎えました。今期は、体育会10周年記念行事が控えており、10周年記念式典、OB名簿の作成、コンサート、10周年記念スポーツ講演会等、さまざまな企画を計画しています。

現在、体育会系サークルは、さまざまな問題を掲げております。その内の一番大きなものとして、部員不足があります。これは日頃各サークルが試合、大会等に向けて練習に励んでいるのですが、試合出場メンバーが足りない、練習内容が充実しないなど、大きな影響があります。体育会本部としても対策を練っています。例年、各サークルに、新入生の勧誘の場を作ったりしている訳ですが、最近の風潮である、無感動、無感心、無行動という三無主義が手伝ってか、効果はまだまだというのが現状です。これには大学に入って、クラブなんか入らず遊んだ方がいいとか、バイトした方がい

いとか、勉学に励みたいなどの理由が挙げられると思います。クラブのよさを、しんどい、たいがい等で打ち消して、楽な学生生活を望んでいるだけだと思います。

現在の広島工業大学の学生は、授業にも出ずに、下宿にゴロゴロしたり、パチンコをしったりして過ごしている学生も少なくない。体育祭、大学祭などの、授業とは全く関係のない行事には不参加の学生が多い。体育祭、大学祭などは、休講等の学校側の配慮にもかかわらず、ただ休みになるということだけを受付けてしまっている。これらに参加している学生を見れば、サークル的立場の自覚のもとに参加している者が多い。サークル的立場といっても、その内の個々の人が、個々の自覚のもとに参加している。結局は個々の人が自覚している事になる。これとは逆に、サークルに不参加の学生には、こういう自覚は全く持ち合わせずに、大学生活の4年間を過ごして卒業して行く者も少なくないと思う。この様な人にも、さき程述べた自覚を持って

準会員だより

欲しい。せめて一度でいいから、大学祭、体育祭などの行事の為に努力し、頑張っていってもらいたいと思います。学生の自覚が少ないという事は、広島工業大学の学生に限らず、全国的にも言えると思うが、私自身、広島工業大学の学生としては、なくなってほしい事です。そうなる様に頑張っていきます。

体育会サークルの部員不足から少しずれた感じではありますが、これまで述べた様に学生一人一人が、何らかのサークル、団体等に入っていってほしいと思います。

体育会サークルは、部員不足という問題を克服しながら頑張っている訳ですが、設備の不足、器具購入に伴う金銭的不足など、さまざまな問題をかかえています。これらの問題も、出来る限り改善して行く所存ではありますが、難しいというのが正直な意見です。

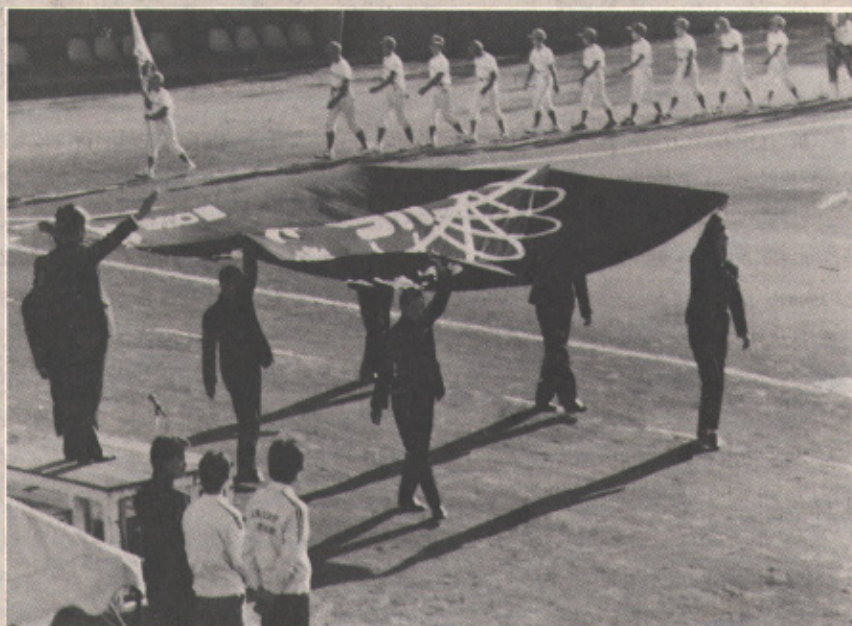
体育会本部は、体育会員全員、又は地域の人々等を対象とした行事として、前、後期ソフトボール大会、体育祭、スポーツ講演会、三宅駅伝大会、水泳大会、少年少女剣道大会、少年少女球技大会、大山スキーパーティー、武道班演武祭等、さまざまな行事を企画して

います。これらはかなり充実してきたと思います。前、後期ソフトボール大会など、参加チーム数が、百数十チームに増えており、スポーツ講演会は、今年度、新体操の山崎浩子さんを迎え、体育館が満員になりました。この様に、まだまだかもしれませんけど、発展していると思います。今後共、体育会が各サークルと一致団結して、各スポーツを発展させていくつもりです。

広島工業大学の学生は、全員、体育会員であるという事を知っている学生が少ないと思います。これらの学生を増やし、本当に自覚させていって、体育会主催の行事を、自分らの行事で、自分らの手で成功させようと一人一人が思う体育会員を作っていきたいと思っています。

第11期体育会本部は、以上の事を目標に置いて頑張っていく所存ですので、諸先輩方より一層の御支援、御指導の程、よろしく御願ひ申し上げます。

最後になりましたが、体育会本部を、現在の段階に作ってこられた、歴代の体育会本部の方々にこの場を借りて感謝の言葉とさせていただきます。



広 い視野で 島 工 学 を 学 び 大 きな夢を 学 校

工学とは

無から有を生む営み

自然の理法を明らかにするのが

理学なら

工学は

その形の無い理法のもとに

自然に働きかけ

〔工学部〕

（男女共学）

電子工学科

電気工学科

機械工学科

土木工学科

建築学科

経営工学科

人間のより豊かな生活実現のため

形の有る何かを創り出すことである

そこには

何にもまして創造性が必要とされる

創造とは

知識と体験と直感とをたよりに

今までにない新しい何かを

生んで育てること

生むは インスピレーション

育てるは バイタリティー

生みの苦しみ 育ての苦しみを知る者が

生みの喜び 育ての喜びを知る

広い視野で学問を学び

生きた知識と ほんものの体験を得よう

そして

創造しよう 大きな夢を

お問い合わせ先

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725

TEL(0829)21-3121(代)

広島工業大学入試係

大学だより



S 60年度・就職だより

就職部長 山 佐 崇

広島工大同窓会の発足20周年記念を心よりお慶び申し上げます。深緑なる三宅の地を果立ち社会人として貢献しておられる同窓生1万5,000有余人の御活躍により、本学に対する評価は年ごとに高まりました。おかげをもちまして、ここ数年の就職に関しては、順風満帆と申し上げても誇張では無いと思います。

S. 60年度、就職戦線も企業の旺盛な求人活動に支えられ、前年度よりはスタートが1か月は早いといわれた内定ペースで順調に推移いたしました。本稿締切りの12月16日現在で内定率は90.7%に達しており、本誌が同窓の皆様方に届けられる年度末には、内定100%の目標が達成出来るものと確信いたしております。

以下にS. 60年度就職戦線をふりかえりつつその概要を説明いたします。

一求人動向一

就職戦線は第2の求人ブームといわれる活発なスタートを切りました。本学に関する求人数（公務員を含む）は12月16日現在で、3,803件に達しましたが、これは前年度末の2,624件に比べて実に1.5倍という高い伸びを示したことになります。

業種別の動向では、コンピュータ・ソフト業界を含むサービス業が2.6倍で最も高い伸びを示しました。製造業も1.4倍で順調に伸び、建設業は1.2倍で上向きといった状況でした。

求人動向の総括として各学科ごとの求人数（企業数）をみると第1表のようになります。表から経営工学科の伸びが目につきますが、新規求人のなかにはソフトウェア専門企業が相当部分を占めており、必ずしも求人急増を単純に評価できない点があります。と申

しますのは、経営工学科就職希望者のうち、ソフト希望学生は20%程度に過ぎないという調査結果にもとづくものです。

同じような傾向は土木・建築の両学科にもみられ、不況といわれる建設業界からの求人は20%程度の上向きでしたが、ソフトハウス業界からの積極的な求人が対前年比を大きく押し上げる要因となりました。

一内定動向一

各学科とも就職委員を核にした卒研指導・先生方の指導のもと、学生諸君の積極的なチャレンジが続けられ、冒頭に述べましたような内定状況です。その内容を具体的に第2表に示します。

内定動向の特徴としては

- ・上場企業への内定数が前年度に比べ大幅に増えました。前年度151名に対し本年度は191名です。各学科ごとの大企業への就職状況の一端を第3表に示します。
- ・就職先の地域は、最終的には前年度同様に広島を中心とした中国に45%（うち広島40%弱）、関東30%、近畿15%、四国5%、九州3%、中部2%程度におちつくと予想されます。
- ・本学卒業生のうち約20%は四国・九州出身者で占められておりますが、上述のとおり四国、九州への就職は合わせて8%程度に過ぎません。即ちUターン就職されるのは2.5人に1人程度です。家族構成の関係からUターン希望は年ごとに高まることが予想され、その質、量ともに充実せねばならぬと考えております。

最後になりましたが、同窓の皆様におかれては、今後とも就職に関して、よろしくご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第1表 学科別求人数（企業数）

S. 60. 12. 16 現在

項目	学科	電 子	電 気	機 械	土 木	建 築	経 営
求 人 件 数	本年度(S. 60. 12. 15)	1, 558	1, 763	1, 656	542	577	892
	前年度(S. 60. 3. 31)	985	1, 115	1, 041	304	371	484
	本 年 度 / 前 年 度	1. 58	1. 58	1. 59	1. 78	1. 56	1. 84

大学だより

第2表 学科別・内定率

S. 60.12.16 現在

項目	学科	電 子	電 気	機 械	土 木	建 築	経 営	計
在 籍 者 数	③	147	140	224	95	166	151	923
進 学 者 数	⑤	2	0	1	1	1	1	6
就職希望者数	④-⑤	145	140	223	94	165	150	917
内定者数	本年度計⑥	136	131	211	82	133	139	832
	内 上 場	39	39	49	7	26	31	191
	内 未上場	95	92	159	75	106	108	635
	内 公 務	2	0	3	0	1	0	6
内定率% = ⑥ / ④ - ⑤		93.8	93.6	94.6	87.2	80.6	92.7	90.7

第3表 学科別・大企業への内定状況

S. 60.12.16 現在 数字は内定者数

学 科	項 目	内 定 先 大 企 業 お よ び 内 定 者 数	
電 子	沖電気工業㈱	1	㈱東 芝 1
	三洋電機㈱	2	日本電気㈱ 1
	シャープ㈱	3	富士通㈱ 1
	ソニー㈱	1	松下電器産業㈱ 2
	中国電力㈱	1	マツダ㈱ 3
電 気	沖電気工業㈱	1	㈱東芝 1
	キャノン㈱	1	日本電気㈱ 1
	三洋電機㈱	1	㈱日立製作所 1
	シャープ㈱	3	富士通㈱ 1 本四国架橋公社 1
	中国電力㈱	1	マツダ㈱ 1 松下電器産業㈱ 3
機 械	NTN東洋ベアリング㈱	2	富士通㈱ 1
	山陽国策パルプ㈱	1	松下電器産業㈱ 1
	シャープ㈱	5	松下冷機㈱ 1
	㈱日本製鋼所	1	三井金属鉱業㈱ 1
	日本通運㈱	1	マツダ㈱ 4
土 木	㈱神崎組	1	奈良建設㈱ 1
	機動建設㈱	1	日本舗道㈱ 1
	近畿電気工事㈱	1	広島電鉄㈱ 1
	国土総合建設㈱	1	フジタ工業㈱ 1
	ショーボンド建設㈱	1	三菱建設㈱ 1
建 築	NTT	1	大和ハウス工業㈱ 2
	熊谷組	1	トーヨーサッシ㈱ 1
	五洋建設㈱	3	フジタ工業㈱ 1
	積水ハウス㈱	1	前田建設工業㈱ 1
	大豊建設㈱	1	三菱建設㈱ 1
経 営	旭有機材工業㈱	1	第一産業㈱
	協和電設㈱	1	日本電気㈱ 1
	グローリ工業㈱	1	文化シャッター㈱ 2
	シャープ㈱	3	松下電器産業㈱ 2
	スタンレー電気㈱	2	マツダ㈱ 1

㈱ 企業名は売上げ順・上位10社。五十音順。

同窓会本部だより

北から南から支部だより

◎徳島・香川・長崎県支部 7 年目

宮崎県支部 4 年目の総会

並びに懇親の集い開かれる

○長崎県支部は昨年に続いて 3 回目の郷里長崎に夏休み帰省中の現役学生を招待し、「県出身者の在学を励ます会」を開催。

今年も一昨年よりはじめた長崎県出身者の在学を励ます会を企画し現役の学生との親睦をはかろうと先輩が後輩たち現役を招待して、夏休みの昭和60年8月10日(土)に、長崎出島の出島会館にて支部会員9名、本部より会長代理として基礎教育中西助次先生(昭和43年機械卒)そして母校大学より学生部長で電子工学科の中村正孝先生、学生部次長の松田幸一先生、そして就職部課長の寺本和子氏4氏の出席のもと、昨年まではわずか1名でも現役学生の参加がありました。

今年は残念なことにゼロということになりました。参加された同窓生は恩師の先生がたや、後輩たちと母校の近況や同窓会のようす、仕事のことなど語り合い、和気藹々のうちに楽しい一時を過ごすことができ、是非これからも現役の学生を案内して後輩を励ましてやってゆきたいとの先輩の気持、後輩を思う「先輩心」でした。せっかくの先輩の思い是非とも一人でも多い現役学生の参加を期待したいものです。



長崎県支部第7回総会並びに県出身者の在学を励ます会の開催のようす

20年間の支部結成状況

広島工業大学同窓会 地区、県、職場支部の結成状況

(S 60.12月現在)

(左欄順) (地区、県、職場) (支部名)

- 1) 昭和44. 3. 13 地区 関東支部(A 1)
2) 昭和46. 4. 1 地区 近畿支部(A 2)
3) 昭和53. 9. 20 地区 近畿支部(A 3)

- (A) 〇地区支部…3
(B) 〇県支部…4
(C) 〇職場支部…13

- 1) 昭和54. 10. 20 県 長崎県支部(B 1)
2) 昭和54. 12. 1 県 徳島県支部(B 2)
3) 昭和54. 12. 2 県 香川県支部(B 3)
4) 昭和57. 6. 19 県 宮崎県支部(B 4)

- 1) 昭和54. 4. 22 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 1)
2) 昭和54. 4. 22 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 2)
3) 昭和54. 4. 22 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 3)
4) 昭和54. 4. 22 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 4)
5) 昭和54. 4. 22 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 5)
6) 昭和54. 4. 22 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 6)
7) 昭和55. 5. 26 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 7)
8) 昭和57. 3. 26 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 8)
9) 昭和57. 6. 5 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 9)
10) 昭和57. 6. 5 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 10)
11) 昭和57. 11. 27 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 11)
12) 昭和59. 1. 21 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 12)
13) 昭和59. 3. 1 職場 〇〇〇〇〇〇〇〇(C 13)

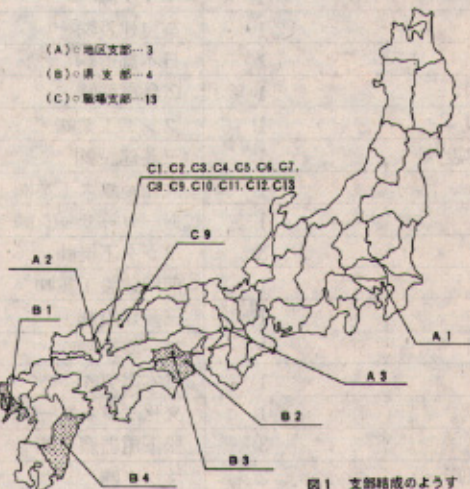


図1 支部結成のようす

今までの支部結成のようすを図1に示し、地区、県、職場各支部の紹介をします。

図1に述べているそれぞれの支部のようす、支部結成時の発会式の状況、その後の支部活動の活動状況などは年度ごとまとめて会報、会誌に本部ニュースとして紹介されていますので、その資料をご覧ください。

同窓会支部の紹介

支部結成状況図参照

(S60.12現在)

〈地区支部〉

A1 関東支部 〒166 東京都杉並区

同窓会本部だより

和田 2丁目25-1-104 上村 忠 (45年電子卒)
ファコムハイタック㈱ (03)264-1131

A2 近畿支部 〒533 大阪市東淀川区豊島 5丁目17-1
馬頭 睦夫 (42年電子卒)
木村化工機㈱ (06)345-6261

A3 岩国支部 〒740 岩国市錦見1丁目14-16
田原 亮治 (45年建築卒)
岩国市役所 (0827)43-1865

<県支部>

B1 長崎県支部 〒852 長崎市昭和町7の20
昭和ビル301号 福田 雅信 (43年機械卒)
長崎県庁 (0958)24-1111 (内線3091)

B2 徳島県支部 〒779-31 徳島市国府町和田字居内
144 木村 和男 (44年建築卒)
美土利建設工業 (0886)22-2507

B3 香川県支部 〒763 丸亀市9番丁82番地
七福マンション302号
石川 計幸 (45年建築卒)

石川一級建築設計事務所 (08772)4-3426

B4 宮崎県支部 〒889-19 宮崎県北諸県郡三股町
榊山1516-2 教職員住宅(自宅)
谷口 忠光 (43年機械卒)
都城東高等学校 (09865)2-1010

<職場支部>

C1 ジューキ広島製作所 〒739-17 広島市安佐北区
高陽町下深川312 二岡 慎太郎 (47年経営卒)
(082)842-1141

C2 中国電機製造 〒730 広島市南区大州4丁目4-32
高須 孝幸 (49年電子卒)
(082)281-5291

C3 大協株式会社 〒739-01 東広島市八本松町原
175-1 大森 寿男 (42年電子卒)
(0824)29-0111

C4 中国電力株式会社 〒730 広島市中区小町4-33
可知 英樹 (41年電気卒)
(082)241-0211

C5 油谷重工株式会社 〒731-01 広島市安佐南区祇
園町南下550 平原 孝晴 (43年機械卒)
(082)874-1111

C6 三建産業株式会社 〒730 広島市中区東千田町1
丁目1-72 川本 幸雄 (45年機械卒)
(082)249-2655

C7 菱電商事株式会社広島支店 〒730 広島市中区八
丁堀3番8-301 見山 久夫 (48年経営卒)
(082)227-6481

C8 株式会社誠和 〒730 広島市中区銀山町3-18
今村 良則 (54年建築卒)
(082)247-5560

C9 三次電機株式会社 〒723 広島県三次市四拾貫町
91番地 広瀬 清爾 (42年電気卒)
(08246)2-5111

C10 マツダ株式会社(MAZDA支部)
〒730-91 広島県安芸郡府中町
山下 寿之 (44年機械卒)
(082)282-1111

C11 広島信用金庫 〒730 広島市中区富士見町
3の15 上田 泰正 (46年経営卒)
(082)245-0321

C12 株式会社佐竹製作所(佐竹工大会)
〒724 広島県東広島市西条西本町2の30
倉本 昭紀 (39年電子卒)
(0824)23-3111

C13 広島市役所支部E2M会 〒730 広島市中区国泰
寺町1丁目4-21 大森 忠昭 (44年電子卒)
(082)245-2111

**支部結成気運高まる！
支部結成まぢか！**

◎柳井地区

支部結成準備委員決まる。

昨年夏頃より柳井支部として発起人池岡則正氏(昭和42年電子卒)、石川俊彦氏(昭和44年電気卒)を中心に支部結成の準備がすすめられ、地元におられる方への呼びかけをしております。

柳井地域には約180余名の卒業生がおられるそうです。

支部結成発起人氏名(各学科連絡員)

	住所	TEL
・池岡則正 42年電子卒	柳井市大字古閑作194-6	柳井局②9520
・石川俊彦 44年電気卒	田布施町麻郷旭963-5	田布施局②5024
・石丸東海 45年土木卒	柳井市余田	柳井局②6809
・店崎清陽 46年機械卒	柳井市新庄幸南2943-4	柳井局②8431
・三吉幸夫 47年建築卒	柳井市水口1452-5	柳井局②8155

同窓会本部だより

・藤坂元啓 47年経営卒 柳井市山根
(旧姓野村) 柳井局②7480

◎岡山県、山口県支部結成の気運高まる!! 各地区結成発起人同窓生連絡員の紹介

山陰地区(鳥取、島根県支部)、福山、三原、尾道各地区の支部発起人、同窓生連絡員の紹介

- 岡山県支部：三戸恵一郎(S44年機械卒)
川崎医療短期大学 0864-62-1111
- 山口県支部：中野節男(S42年電気卒)
山口県庁土木建築部住宅課 0839-22-3111
山本通安(S44年機械卒)
田所商事㈱原料課 0833-71-2816
自宅 0833-71-1926

- 島根県支部
島田 毅(S44年機械卒) (自宅)085252-2877
三菱農機㈱ 085252-2778
永井 賢(S47年機械卒) (大原郡)49-7101
渡辺製鋼所 0853-21-3344

- 鳥取県支部
・安達哲夫(S57年機械卒) 0859-28-6044
村田板金工業所 08542-2-2350
- 福山地区・吉田昌功(S43年電子卒) 08496-6-1626
福山総合高等職業訓練学校 0849-23-6413
・寺田明弘(S43年機械卒) 0849-47-0947
神辺工業高校 0849-63-0081
・鈴木 寛(S43年機械卒) 0849-53-8378
広島県立呉工業試験場 0849-51-2732
- 尾道地区・渡辺卓也(S43年機械卒) 0848-37-0689
㈱渡辺製作所 0848-48-3949
- 三原地区・河野義信(S42年電子卒) 08486-6-2718
三原市役所 08486-4-2111
・産本利明(S48年機械卒) 08486-4-4844
幸陽船渠 08486-9-1200

◎職場支部として

広島県庁・広島市役所・広島佐伯区役所・デルタ工業㈱・中国電気工事㈱・東洋シート㈱・丸井産業㈱など支部結成まじか!!

広島市かいわいの職場で支部結成の気運が高まりつつあります。

同窓生数の変遷並びに地区別・都道府県別会員数のようす

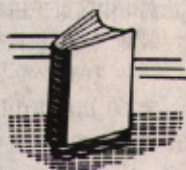
表1に地区別、都道府県別の会員の状況を示す。これより広島に約7,000名、その半分は広島市内で活躍していることがわかります。卒業生15,159名の半分近くは母校の所在地広島市にてともに「広島工大」の「光」として大活躍されていることがわかります。

表1 地区別、都道府県別会員数

S.60.5現在

関東地区	東京都	526	栃木県	6	1,082
	神奈川県	277	埼玉県	102	
	千葉県	120	群馬県	9	
	茨城県	38	山梨県	4	
信越地区	長野県	14	新潟県	10	24
東海地区	静岡県	45	愛知県	107	163
	岐阜県	4	三重県	7	
近畿地区	滋賀県	31	奈良県	50	1,144
	大阪府	626	和歌山県	22	
	京都府	72	兵庫県	343	
中国地区	鳥取県	122	広島県(市内)	6,980(3,640)	8,809
	島根県	282			
	岡山県	496	山口県	929	
四国地区	香川県	279	高知県	98	1,312
	徳島県	131	愛媛県	804	
九州地区	福岡県	224	大分県	127	618
	佐賀県	17	宮崎県	44	
	長崎県	75	鹿児島県	85	
	熊本県	46			
北陸地区	福井県	1	富山県	3	5
	石川県	1			
東北地区	福島県	1	宮城県	6	7
	北海道	5	沖縄	5	10
海外		5			5
合 計				13,179	

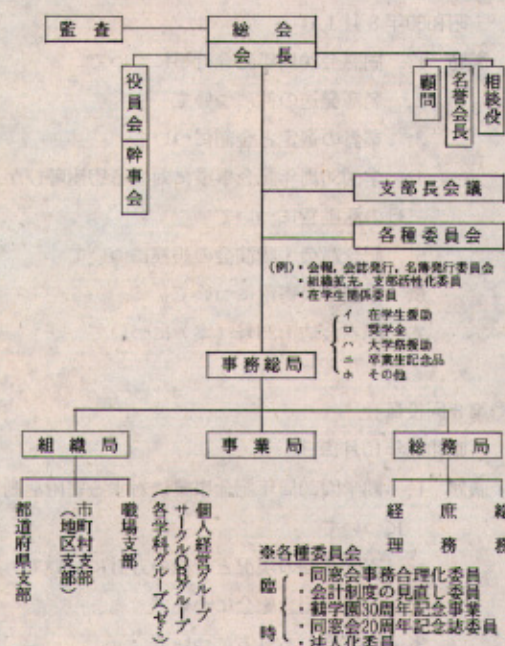
(住所不明者除く)



同窓会の組織(案)と各県単位を中心とする同窓会の全国ネットワークの確立

表1より日本各地区、地方並びに海外で活躍中の同窓生のようなすがわかりましたが、このたびのような20年という大きな節を迎え、満20歳としての成人式を迎えるにあたり、1万5千人に及ぶ同窓生の大きな組織を今一度見直し、過去の先輩諸氏の並々ならぬご尽力によって基本的組織が出来上って参りました今、この大きなひと節を期に新しい目標と歴史を30年いや50年に向けて作り出していかなければなりません。

広島工大同窓会本部組織図(案)



そこで図2に示すような組織(案)を体系化してゆくため、同窓会本部事務制度を確立し、事務局という組織の要を専任事務局員を置き、同窓会本部と支部及び母校との連携をよりいっそう促進してゆくことが大切と思われます。そのためにも図1に示すように各県単位を中心とする同窓会の全国ネットワークの確立が急がれます。幸いにも本年5月末に1万5千人に及ぶ同窓会会員の所在を表1に示すように各県単位にふり

分けることができました。さらに現在名簿の電算化処理対策が検討され、着々と電算化処理に向けて準備がすすめられております。完成すれば全同窓生のようなすがたやすくすみやかに把握でき、同窓生への連絡、書類、郵便物発送手続きなども簡便かつ迅速に処理されてくるものと期待されます。

◎地域・県・職場支部の支部結成手続

き方法の紹介

ここ数年、毎年の活動方針の一つとして、支部結成の奨励をすすめてきておりますが、20周年を迎えた今、さらに促進してゆきたいと思ひます。

同窓会本部として最も大きな仕事は会員名簿の充実と思われます。その会員の状況をつかむためにも、地区、地域、県、職場グループでの連絡網が大切となります。

本部としては、少しでも多くの支部が結成され、同窓生の縦と横のつながりができ、その絆が広がってゆき、各地から支部結成のニュースが聞かれますよう願っております。何らかの形で同窓生の集いを持たれたり、そのような集いを持つという気運が生じた時には、至急同窓会本部まで御連絡下さい。手続きのようすなどを説明させていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

＜支部結成のために必要とされる手続き＞

- 1) 支部結成発起人(卒業年度、学科、氏名)
- 2) 支部内同窓生氏名(同 上)
- 3) 支部則原案(支部則見本を地区、県、職場支部ごとと別々に作成していますので、参考にして下さい。)
- 4) 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
- 5) 正式に支部として承認されましたら支部則にもとづき支部長、副支部長、会計その他の役員名を本部に届ける。

支部結成のための連絡場所

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅 725

広島工業大学同窓会本部事務局

TEL (0829)21-3121

(文責 支部担当責任者 小西正明 記)

同窓会本部だより

—昭和60年度議事録—

(開催場所 役員会：広島校舎、幹事会：本学同窓会室)

▶ 幹 事 会 ◀

◎第1回幹事会

昭和60年5月31日

- 議題 1. 同窓会20周年記念事業の役割分担について
2. 本年度の活動の担当について

◎第2回幹事会

昭和60年7月12日

- 議題 1. 同窓会20周年記念事業の進行状況と具体案について
◦名簿、会誌、記念総会について

◎第3回幹事会

昭和60年7月25日

- 議題 1. 同窓会20周年記念事業について
2. MT入力、業者の選定について
3. 総会について
4. 学園30周年記念の寄附について
5. OBの寄附について

◎第4回幹事会

昭和60年8月30日

- 議題 1. 同窓会20周年記念総会について
2. 組織拡充代表者会議について
3. 学園30周年記念事業に対する寄附について

報告 名簿の電算化について

◎第5回幹事会

昭和60年10月4日

- 議題 1. 各種OB会名簿作製について(案)
2. 鶴学園30周年記念事業への寄附依頼の活動について

▶ 役 員 会 ◀

◎第1回役員会

昭和60年7月19日

- 議題 1. 援助金(準会員)について
2. 同窓会奨学生選考について
3. 会報発刊について
4. 同窓会20周年記念事業について

◎第2回役員会

昭和60年8月1日

- 議題 1. 同窓会20周年記念行事について
2. 名簿発送の件について
3. 業者の選定と金額について
4. 学園30周年記念事業に対する寄附呼びかけの活動費について
5. 記念総会・講演会の規模について
6. 学園への寄附について
7. 同窓会誌第20号(案)について

◎第3回役員会

昭和60年10月19日

- 議題 1. 鶴学園30周年記念事業に対する寄附活動について
(寄附活動の現況と今後の方針について)
2. 20周年記念総会について
3. 同窓会のあり方について

連絡事項

1. 会誌、名簿の進行状況の説明
2. 今年の援助金の説明

談話会

昭和60年12月21日

同窓会の今後の方針について談話会がもたれ理事長 鶴 翼先生が出席され、ご助言頂きました。

編 集 後 記

本学同窓会も、昭和61年3月で満20周年を迎え、15,000人を超える同窓生が社会で活躍しています。すでに広島では、広島工大の卒業生なくして産業界は成り立たなくなっています。この力を日本から世界へと向けていこうではありませんか。

ところで、本誌は記念誌でありながら、例年の会誌を少し上回る程度のページ数になってしまいました。この点につきましては、今回、会員名簿の電算化とその名簿を全会員に無料配布することによって、予算の大幅な増加になりましたので、ご勘弁頂きたいと思います。

なお、本誌に対して、原稿を執筆して頂いた方々、貴重な資料や写真を提供して下さいました方々に深くお礼申し上げます。

会誌発行者 広島市佐伯区五日市町三宅

広島工業大学同窓会

表紙題字 鶴 襄 筆

発行責任者 永 見 憲 吾

編集責任者 電 気 工 学 科

印 刷 所 広島電話印刷株式会社

広島県佐伯郡大野町太田新開6033

電 話 (0829) 55-220110

ふれあい大切に



レディース積立預金

セピア SEPIA

積立ながら楽しめる
ファンタスティックな女性専用口座です。



もっと楽しく生活したいから
もっと素敵な女性になりたいから
もっと貯金したいから
今日からわたしはセピア。
カルチャーに「レジャー」に「ショッピング」に。
しっかり貯めて上手に使うセピアは、
かわいい女性のための
新しい積立預金です。
ちょっとおしゃやれなセピアライフ
をいっしょに。



呉相互銀行